



おの

ます。退縮により露出した歯根面にできるむし歯を「根面う蝕(しょく)」と呼びます。

根面う蝕も60〜70代をピークに増加していくことが報告されています。

歯根表面はコラーゲン主体の有機成分を含むセメント質や象牙質で構成されて

のリスクが高くなります。では根面う蝕を予防するためにどうしたら良いのでしょうか。

歯肉との境にむし歯

専門的な清掃で予防を

【問い】定期的に歯科検診を受けていますが、その都度歯肉との境目にむし歯ができています。自分ではしっかり磨いているつもりですが、なぜ、むし歯になるのでしょうか。

(佐世保市、67歳女性) 【答え】

20代以降の成人期には歯周病や歯列不正などにより徐々に歯肉が下がってくる「歯肉退縮」が起こってき

回答者

むかえ 文彦
北松佐々町羽須和免
かわむら歯科医院院長



いて、硬いエナメル質が存在しないため、むし歯菌が産生する酸により溶けやすいのです。さらに歯根表面や歯と歯の間は歯ブラシが届きにくく日常的に清掃不良に陥りやすいため、う蝕

ルも重要です。歯科医院でのプロフェットシヨナルケアも大切です。歯垢(しこう)は口腔内に生息する細菌や微生物が集まってできています。この集まりは「バイオフィルム」と呼ばれますが、うがいや消毒では落とすことができません。歯科医院で機械を使って除去する専門的歯面清掃とフッ化物歯面塗布などが根面う蝕の予防に効果があるといわれています。

質問をどうぞ 歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。